



スロータウン連盟に加入して、本町でどのように活用したまちづくりをする考えであるか伺います。

町長

本町は昨年からのスロータウン連盟に加入しましたが、この連盟は緒についたばかりで、町おこし事業同様成果を上げるには長い時間が必要であると考えており、

本町の地域資源、天然資源をもう一度見つめ直し、取捨選択しながら進めて参りたいと思っています。

現在行っている私たちの町づくり自体がこのスロータウンづくりにつながっていると感づいており、この町づくりを更に魅力あるものに推進していきたい、地方分権時代の武器になるよう仕上げて行きたい。

連盟加入の活用策は 資源を見直し進める

上大迫清盛議員

まちづくり

スロータウンの概念

効率、利便性を重視し、新しい物を追及するスピード社会と、万事手間隙をかけて物事を深く追求し、保存・再生に重点を置くスロー社会。この2つの社会が共存する社会システムを目指している市町村をスロータウンという。基本理念として、地域資源、天然資源を見つめ直し、手間隙を惜しまず保存・再生は革命であるという強い意志をもって、国民一人ひとりの真により良い人生の実現へつながる町づくりに取り組んでいくこととしている。



今後の課題として、雇用創出や特色ある農業振興策を掲げられているが、合併協議が進む中で、残り少ない期間に具体的な施策、考え



まちづくり

川口憲男議員

雇用創出引き続き課題

具体的な雇用創出等は

を持っているのか伺いたい。

町長

企業誘致による雇用創出は今後の課題である。若者が定着できる雇用環境をつくることの必要性は感じているが、この問題に関して今のところ妙手があるわけではありません。企業誘致というだけでなく我が町、我が地域に働ける環境をつくる努力は変わらない課題であると思っております。あびる館、自慢館、シルバー人材センターなどはこのような厳しい時代の中で貴重な雇用の場を創出し

雇用創出を担う町内の企業

でなく我が町、我が地域に働ける環境をつくる努力は変わらない課題であると思っております。あびる館、自慢館、シルバー人材センターなどはこのような厳しい時代の中で貴重な雇用の場を創出し

ていると思っております。特色ある農業振興策については、残り少ない時間で具体的に何か考えているかということですが、このことは今まで追及し取り組んできたことであり、特別な何かをしようということではありません。今までの努力を更に推進する、特化する。ことだと思っています。

今後の農業振興で発光ダイオードを生かせないかという検討課題があります。イチゴの生産で病害の予防や日照不足による生育不良の問題、そして収量増加対策、味覚の向上等、先進的な実験ができません。いかと検討中でありま

今期定例会で審議された専決処分、条例の一部改正等について、その概要をここではお知らせします。

専決処分

今回の専決処分の承認を求めることについては、平成14年度鶴田町一般会計補正予算(第9号)で、主な補正内容は、土木費の工事請負費480万円を追加したものです。これにより、歳入歳出の総額はそれぞれ32億1007万5千円となりました。

条例の一部改正等

手数料徴収条例の一部改正

この条例は、住民基本台帳法の一部改正等に伴い改正されたものです。主な改正内容は、住民基本台帳カードの交付及び再交付手数料を一件につき500円と定めたもので、施行日は平成15年8月25日からとなります。

過疎地域自立促進計画の変更 計画の主な変更内容

変更後	備考
事業名	変更内容
活力ある村づくり支援事業	事業の追加
有害鳥獣駆除事業	事業の追加
紫尾温泉周辺環境整備事業	事業内容の変更
農業経営改善支援活動事業	事業の追加
かごしまグリーンツーリズム総合推進事業	事業の追加
地方特定道路整備事業	事業の中止
水力発電施設周辺地域交付金事業	事業の追加
過疎対策事業	事業の追加
柏原地区集会所施設整備事業	事業の追加



水力発電施設周辺地域交付金事業で塗装を行う平江橋

治山事業分担金賦課の基準並びに徴収の時期及び方法

この議案は、県費単独補助治山事業(神子・見知り地区)の施工にあたり、町治山事業分担金徴収条例に基づき、下表のとおり受益者から分担金の賦課の基準並びに徴収の時期及び方法を定めたものです。

事業の種類	賦課の基準	徴収の時期
県費単独補助治山事業	事業費の5%	自平成15年7月1日 至平成16年3月31日
徴収の方法	納入通知書による	